

市民、環境、社会へ、いかに素晴らしい取組であるかを評価する「緑の認定」
SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)に、
新たに5か所の企業緑地が加わりました。



公益財団法人都市緑化機構（会長 矢野 龍）では、民間事業者が所有、管理する緑地の価値を、その取組が市民や環境、社会にとっていかに素晴らしいものなのかを客観的に評価する「緑の認定」制度 SEGES(シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム)を実施しております。SEGESには、3つのシリーズ『そだてる緑』『都市のオアシス』『つくる緑』があり、SEGES評価・認定委員会では、企業緑地を評価し、認定ラベルの決定とステージ昇格の可否を審査します。

今回、公益財団法人都市緑化機構では、SEGES評価・認定委員会での審議を経て、下記の通り新規に5か所の企業緑地と、認定ラベルのステージ昇格として2か所の企業緑地を認定しました。

新規認定『そだてる緑』

- 新柏クリニック めぐりの庭（千葉県柏市）

新規認定『都市のオアシス』

- HAKKOパーク（広島県尾道市）
- フレスポ稲毛（千葉県千葉市）
- 三越日本橋本店 日本橋庭園（東京都中央区）
- 養命酒健康の森（長野県駒ヶ根市）

認定ラベルのステージ昇格『そだてる緑』

- 出光興産株式会社 北海道製油所（北海道苫小牧市）
- あさひ・いのちの森（静岡県富士市）

SEGES(Social and Environmental Green Evaluation System)は、企業の保有・創出する緑地事業について、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和、地域生態系の保全、良好な景観の保全と創出、地域社会とのコミュニティ醸成や安心・安全な街づくり等、社会や環境に貢献していることから、その都市緑化事業を(公財)都市緑化機構が認定するものです。SEGESでは3つのシリーズ『そだてる緑』『都市のオアシス』『つくる緑』から構成され、8月現在でこれまで127箇所の企業緑地を評価してきました。

SEGESは政府が定める「生物多様性国家戦略2012-2020」や「低炭素まちづくり実践ハンドブック」、「生物多様性民間参画ガイドライン」等にも記載されている評価システムです。

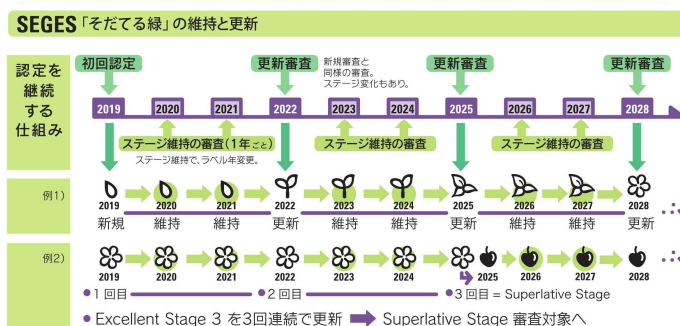
詳しくは 公式WEBサイトをご覧ください。 <https://seges.jp/>

今後も全国で、『そだてる緑』『都市のオアシス』『つくる緑』の普及と認定緑地の拡大に努めてまいります。
なお、本事業は住友林業株式会社の特別協賛を頂いております。

お問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 SEGES事務局 担当 柳本・菊池・伊藤・李
〒101-0051千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
電話：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp

■ SEGES『そだてる緑』

- ・ SEGES「そだてる緑」は、事業者が所有する緑地(300㎡以上)の優良な保全、創出活動を認定する。



- ・ SEGES『そだてる緑』認定 サイト数 : 25 サイト〔令和元年9月4日現在〕
- 「Superlative Stage」認定サイト数 : 14 サイト (緑の殿堂を含む)
- 「Excellent Stage 3」認定サイト数 : 6 サイト
- 「Excellent Stage 2」認定サイト数 : 1 サイト
- 「Excellent Stage 1」認定サイト数 : 4 サイト
- ・ 主な参加企業 : リニグローバルマニュファクチャリング & パフォーマンス[®](株)、トヨタ自動車(株)、三井住友海上火災保険(株)、富士通(株) など
- ・ 認定ラベルの維持と更新 : 認定ラベルは緑地の現状に応じて5段階の認定ラベルが適用されます。新規認定から2年間は維持審査にて維持状況を確認し、3年目は更新審査を実施します。更新審査時は認定ラベルのステージが昇格する機会となります。次の3年間も同様に維持と更新の審査を実施し、SEGESでは企業緑地の「価値の見える化」をサポートします。

■ SEGES『都市のオアシス』

- ・ 快適で安全な都市緑化を提供する取り組みを認定する。

公開性	一般の多くの人々が利用可能で、アクセスしやすい場所に設置されている
安全性	管理者が明確で日常的な維持管理がなされ、利用にあたっての安全性が確保されている
環境への配慮	都市の温暖化の抑制や生物多様性の保全など環境に対する配慮がなされている

- ・ SEGES「都市のオアシス」認定 サイト数 : 54 サイト〔令和元年9月4日現在〕

■ 申込から認定までの流れ

申込(書類審査)	現地審査	認定委員会	認定式
2019年4月～6月	2019年5月～6月	2019年7月24日(水)	2019年10月16日(水) 東京大学弥生講堂

■ 認定方法 学識経験者及び有識者のなかから(公財)都市緑化機構理事長が委嘱し、下記委員により構成するS E G E S評価・認定委員会での審議を経て認定する。

委員長	丸田 頼一	千葉大学 名誉教授
	仙田 満	東京工業大学 名誉教授
	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所 参与
	海野 みづえ	株式会社創コンサルティング 代表
	斎藤 正一	日経BP社 日経BP総研 日経ESG経営フォーラム事務局長
	鈴木 敏央	鈴木敏央ISO事務所 代表取締役
	五十嵐 康之	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
	高梨 雅明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事
(制度担当)	寺田 良二	PwCサステナビリティ合同会社 執行役員

(敬称略)

認定サイト情報

■ 新柏クリニック めぐりの庭

認定ラベル : そだてる緑「Excellent Stage 1」

形態 : 医療施設

所在地 : 千葉県柏市

事業者 : 医療法人社団中郷会 新柏クリニック

「健康・まち・病院経営に寄与する建築とみどり」を目指し計画された透析診療所とガーデンです。在来種を主体に植栽し、利用者の快適性、安心・安全だけではなく、地域景観の向上を含めて、今後の医療施設の緑化の模範として評価しました。



■ HAKKOパーク

認定ラベル : 都市のオアシス

形態 : 工場施設

所在地 : 広島県尾道市

事業者 : 万田発酵株式会社

瀬戸内海に面したロケーションを活かし、島民から観光客まで幅広く楽しんでもらえるよう、大きくリニューアルした緑地です。開放感のある景観づくり、マルシェの開催を通じた交流のきっかけづくりなど、地域への還元・貢献への積極的な取組を評価しました。



■ フレスポ稲毛

認定ラベル : 都市のオアシス

形態 : 商業施設

所在地 : 千葉県千葉市

事業者 : 大和リース株式会社

郊外型ショッピングセンターにおいて、減築により確保した敷地に、パブリックスペースを整備した施設です。買い物の場としてだけではなく、地域交流、緑のライフスタイル情報を発信・提案する場として、進化し続ける点を評価しました。



■ 三越日本橋本店 日本橋庭園

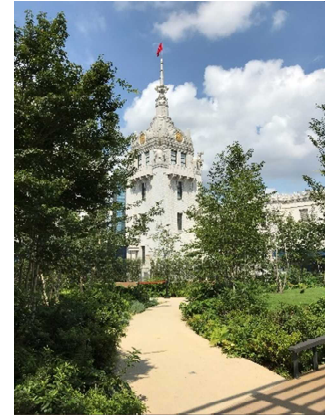
認定ラベル : 都市のオアシス

形態 : 商業施設

所在地 : 東京都中央区

事業者 : 株式会社三越伊勢丹

設立当初から、庭園・茶室などが設置された屋上をリニューアルし、誕生した屋上緑化です。年齢性別にかかわらず、誰もが気軽に立ち寄れる新たなサードプレイスとして、「日本一楽しめる屋上環境」の実現に向けた各種取り組みを評価しました。



■ 養命酒健康の森

認定ラベル : 都市のオアシス

形態 : 工場施設

所在地 : 長野県駒ヶ根市

事業者 : 養命酒製造株式会社 駒ヶ根工場

中央アルプスの山麓で、敷地構内の半分以上が森という、まさに森の中の工場です。森林ガイドツアーのほか、緑、自然、健康などをテーマとした多彩なイベントを開催し、チラシやホームページ、ブログによる情報発信など賑わいづくりの努力を評価しました。



■ 出光興産株式会社 北海道製油所

認定ラベル : そだてる緑「Superlative Stage」

形態 : 工場施設

所在地 : 北海道苫小牧市

事業者 : 出光興産株式会社

「自然との融和」の実現に向け、沿岸部の厳しい立地条件を克服しながら、植物の生育状況に応じた維持管理の改善に取り組んでいます。環境方針「緑化を通じて、生物の多様性への貢献及び自然環境との調和を図る」に沿った各種活動を高く評価しました。



■ あさひ・いのちの森

認定ラベル : そだてる緑「Excellent Stage 3」

形態 : 研究所施設

所在地 : 静岡県富士市

事業者 : 旭化成株式会社 / 旭化成ホームズ株式会社

「富士市沿岸部の原風景」を基調に多様な環境が創出されています。前回審査から、環境コミュニケーションを強化した結果、企業の生物多様性への取り組み姿勢が評価されただけではなく、企業全体の意識向上につながったことを高く評価しました。

